



# げんきっこだより 2月

箱根教育合言葉 箱根を愛し かしこく やさしく たくましく



箱根町立宮城野保育園  
令和4年2月25日

2月に入り、厳しい寒さが続いています。先日、砂遊びの遊具を洗う四角い容器に水を張っておいたら、休み明けの金曜日に大きな氷ができていました。「透明なテーブルみたいだね」「おおきいね。」「つめたい！」と子ども達は、冷たい氷に触れたり、ひんやりした空気を肌で感じたり小さい体で季節を感じながら過ごしています。今は、年長児が毎日、絵の具を混ぜた水を容器に入れいろいろな色や形の氷作りを研究中です。それを見ていた年中児も興味を持って、一緒に氷を作る姿があります。卒園進級まで後1ヵ月となりました。子ども達の興味や関心が持てる環境を子どもとともに作り主体的に遊びや活動に取り組めるよう援助していきたいと思います。年長児からたくさん刺激を受けて、年中組も体も、心もたくましくなって年長児への準備を始めているようです。進学、進級のこの時期は、心も身体もうれしい反面、不安定な時期にもなります。家庭と園とで、連携しながら進学、進級がより楽しみになるような言葉がけや援助をしていけるようご協力よろしくお願いたします。

## 読み聞かせ

先日、さくら組とゆり組に「クレヨンのくろくん」の絵本を読みました。毎日、担任からの読み聞かせを楽しみにしている子ども達ですから、読み手が変わっても集中力は変わりません。どちらのクラスも興味津々に聞いていました。園では、毎日1～2冊の読み聞かせの時間をとり、読み聞かせの時間を大事にしています。

絵本スタイリスト影山聖子さんが考える絵本が子どもに与える5つの効果とは

- ① 子どもの精神状態を落ち着かせる
- ② 子どもの心に栄養を与えられる
- ③ 子どもが自主的に他社とのコミュニケーションを学べる
- ④ 様々なものに対する子どもの好奇心を高められる
- ⑤ 親子の絆が深いところで結ばれる



だそうです。絵本の読み聞かせは、0歳児からスタートで、小学校の高学年でも大切だとされています。ご家庭でも引き続き行い、読み聞かせが大人も子どももほっとできる時間になると良いですね。今年度最後の園図書日は、3月4日(金)です。



## 卒園式

令和3年度卒園式を感染対策を行いながら次の通り挙ります。

日時 令和4年3月24日(木)

10時～

場所 ホール

※ 保護者の参加は2名までとします。



※3月の保育意向確認書の提出をお願いします。また、毎日のお迎え票の記入も忘れずによろしくお願いたします。

## アートの日

宮城野保育園の個性化として「子どもの作品であふれる園作り～宮城野ミュージアム～」の取り組みを行って3年目になります。職員も子ども達が「やってみたい!」「作ってみたい!」「わたしも!」と思えるような環境を用意し、日々、表現できる場を子どもと共に作ってきました。その中で、子ども達は、自分の思いを表現することの楽しさを感じたり、自然物や素材、物に触れることで、驚きや感動をしたり、興味や関心が広がっているようです。本来は、日々の活動や遊びの中で、部屋の環境やホール、玄関などに子ども達が四季折々に製作、表現したものを見ていただきたいのですが、コロナ禍でそれができないため、1年間の活動をまとめてアート展を開催することにしました。アート展の当日が大雪の日と重なったことと感染拡大予防対策として日程を延長し、1週間開催することとしましたので、密になることなく、たくさんの人に見て頂くことができました。感想やご意見等がありましたら、連絡帳などでお知らせください。

